

理想の街へ意見発表

瑞浪・陶中 協議会と話し合い

瑞浪市陶中学校の三年生三十一人と陶町街づくり推進協議会のメンバー九人が九日、同校で「陶町の発展のため」などのような街づくりをすすべきか」をテーマに話し合い、発表した。

学校側が協議会に依頼して実現した。最初に生徒たちが五人前後



陶町街づくり推進協議会のメンバーと意見を出し合う生徒たち＝瑞浪市の陶中で

といったアイデアが出た。発表の後、協議会の長谷川孝夫会長(左)が「皆さんのふるさとである陶町をいつまでも愛してください」とメッセージを送った。佐々木誠也君(右)は「知識も経験もある地域の方と交流できてよかった。陶町の発展に今日の発表が生かされればいいなと思います」と話した。(篠塚辰徳)